

# Good Job!! Nagasaki



今月のグッジョブ  
[県央保健所]

県民の健康で安全な生活のために!  
長崎県全体の総合的な保健衛生機関



衛生課 小塚公親さん(獣医師)

衛生課の主な業務は、飲食や理美容、クリーニングなどの衛生面に関する許認可と監視指導です。また、飼えなくなったペットの引き取りも衛生課の仕事で、昨年は管内で989匹の犬猫を引き取りました。動物を飼う方には動物がその命を終えるまで責任を持って飼っていただくことを願っています。



女性職員が多く明るい雰囲気の中、大型の胸部レントゲン車でTB(結核)などの検査を行っています。前列左から2番目が藤田所長

安全・安心な暮らしを健康の面から支える仕事にGood Job!!



特定感染症やペロ毒素遺伝子検査、結核など、高度な検査も行う検査班の職員

環境課 堤文香さん(臨床検査技師)

私の主な仕事は浄化槽や事業場からの排水、大気汚染などに関する相談のほか、それらの苦情に対する指導業務です。排水の苦情や不法投棄の通報などがあれば現場に出向き指導を行います。県民の健康と安心を守るためにがんばります。



企画調整課 川村麗子さん(保健師)

県央保健所は教育保健所として市町を含む保健師・栄養士等の人材育成を行っています。職員が研修などを通して成長している姿を見ると励まされます。これからも、県民の方を支えることができる職員を育てていきたいです。

## 県民に寄り添い、地域保健を守る

今回訪ねたのは、諫早市栄田町にある県央保健所。県立保健所は県内に8つ配置されていますが、そのうち県央保健所は、諫早市、大村市、東彼杵郡3町を所管する、県内で最も大きな保健所です。保健師のほか、医師、獣医師、薬剤師、臨床検査技師など、13職種57名の職員がそれぞれの能力や技術をいかにしながら働いています。

その大所帯をまとめるのは医師の藤田利枝所長。「保健所は、県民の健康や環境保全に関わるさまざまな事業に取り組む第一線の保健衛生機関です。県民の皆さんにとっては、市町の保健センターが身近だと思えますが、保健所はより広域のかつ専門的な役割を果たしています。」その業務内容は幅広く、感染症の発生やまん延の防止、難病対策、母子保健への支援などのほか、食中毒予防などの食品・生活衛生や環境保全などに関する業務を行う一方で、県央保健所では、離島の感染症対策支援も行っています。

また、県央保健所は県立保健所の中で唯一検査班があり、検査技師3名体制で、腸管出血性大腸菌のペロ毒素遺伝子検査など高度な検査を行っているほか、HIVの無料検査を午後8時まで匿名で受けられる体制も整備しています。

「人が安全に、安心して健康に暮らせる地域にするための保健所。警察や消防とは違う意味で、地域を守る役割を保健所が中心となって果たしていきたい」と藤田所長。県民にとって『頼りになる保健所』として、フットワークよく業務に取り組んでいます。

県民の皆さんがいつまでも健康で安心して暮らすためには、感染症対策や食品衛生・環境保全などの保健衛生の取組も重要です。「頼りになる保健所」として、子どもからお年寄りまで住みなれた地域で、安全・安心な生活ができるよう、全力で取り組んでいきます。

長崎県知事 中村法道

